

9

2014
No.118



むふふ



Okutabi

「おくいずも女子旅つくる！委員会」による、むふふオータムイベント「100人deひげダンス」

特集

2 若者が チャレンジするまち

- 6 うなん日和
- 16 わが家のホープ ほか
- 32 9月イベント情報 ほか

- 12 雲南病院だより
- 19 市役所からのお知らせ ほか



加茂スポーツクラブレスリング教室のみなさん
(7ページに記事掲載)



「幸雲なんです。雲南です。」体感フェア@雲南市桜まつり2014『うんなん若者チャレンジプロジェクト』に参加したみなさん

若者がチャレンジするまち

～子どもたちと若者の取り組みと課題～

雲南市では、雲南の食の幸などを発信する目的で、雲南市桜まつりにあわせ、木次商店街を中心に「体感フェア」を行っています。この体感フェアを通して、地域づくりに参加する若者が年々増え、今年は、高校生から大学生、社会人約80人が参加した『うんなん若者チャレンジプロジェクト』により、桜まつりを盛り上げてくれました。

雲南市の子どもたちは、多くの市民のみなさんの協力により、どこにも負けない「キャリア教育」に取り組んでいます。高校生、大学生、若者たちは、自分の夢と社会貢献を実現しようとするつながり、さらに志のある若者のネットワークは市外へと大きく広がっています。

こうした取り組みが実現できるのは、地域（企業）、学校、行政の協働によるものです。

今回は、これまで行ってきた「キャリア教育」や「若者チャレンジ」にスポットをあて、これから雲南市が挑戦するまちづくりについて紹介します。

子どもたちの キャリア教育への取り組み

雲南市ならではの キャリア教育

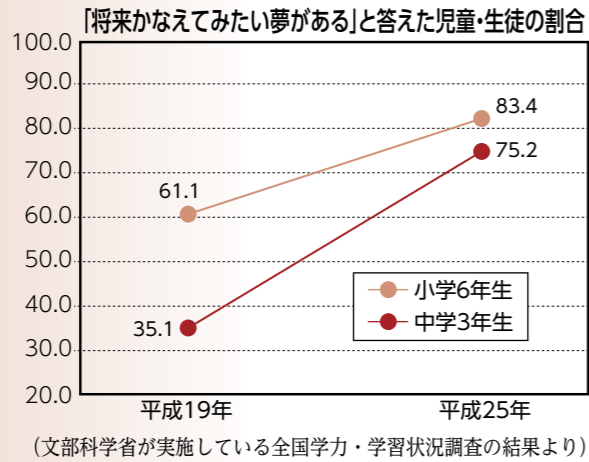
平成17年、雲南市のキャリア教育の取り組みがスタートしました。雲南市の子どもたちがふるさと雲南市に誇りを持ち、積極的に社会に参画していこうとする「意欲」「能力」「態度」を発達段階に応じて身につけ、「社会を生き抜く力」を育てることをねらいとした雲南市独自のキャリア教育がすすめられています。

このカリキュラムは「夢」発見プログラムとして、全ての保育所、幼稚園、小・中学校で共通して取り組むプログラムと、各学校独自で取り組むプログラムで構成され、平成21年度から小・中学校、平成24年度には保育所、幼稚園すべてが実施しています。

そして、保育所、幼稚園、小・中学校の学校種間の縦のつながりに加え、各学校間の横のつながり、さらには、家庭、地域とのつながりを大

切にしています。

全国学力・学習状況調査による、「将来かなえてみたい夢がある」と答えた児童・生徒の割合を見ると、導入前の平成19年度に比べ、平成25年度は、小学校6年生では、22・3ポイント、中学校3年生では、40・1ポイント上昇しており、取り組みの成果ができています。



保育所での職場体験の様子



発見ウィークは、学校、教育委員会、受け入れ企業、家庭、地域の果たす役割を明確にした、地域総がかりの取り組みです。

この学習の目的は、働くことへの関心を高め、義務教育9年間で学んだ力（あいさつやコミュニケーション能力など）を実社会で試す機会とすることです。

今年度は、10月7日（火）から9日（木）まで、連続3日間で市内7校全ての中学3年生が交流しながら実施する予定です。

「夢」発見ウィーク 「職場体験学習」

平成21年度から実施している、中学3年生が行う職場体験学習「夢」

「幸雲南塾」 inさんべ

平成21年度から実施している「幸雲南塾」inさんべは、雲南市内の中学3年生の希望者を対象に、学校教育と社会教育の目標の共有を図りながら、さらなるキャリアアップをめざす2日間の宿泊セミナーです。2日間のプログラムは、様々な形で



▲「幸雲南塾」inさんべ参加者による記念撮影

生徒の心に響く結果となり、参加生徒の割合は年々増えてきています。このセミナーは、雲南市の仲間としての一体感や、ふるさと雲南への自信と誇りを持たせ、雲南市の次世代を担うリーダー育成を図る目的で行っています。

今年度は、9月20日（土）から21日（日）に実施する予定です。こうしたキャリア教育の取り組みを通して、雲南市の子どもたちの「ふるさとへの愛着心」は高まっています。

また、優良モデルとして全国の自治体などから注目をあびています。

子どもたちの「ふるさとへの愛着心」の高まり

子どもたちの意識調査結果（平成25年調査）

- (1) 自分の住むまちが好きだ【回答：小4～中3】
85.6%（平成19年は30.1%）
H19比較 55% 向上
- (2) 自分の住むまちをもっとよくしたい【回答：中3】
78.6%（平成20年は68.2%）
おおよそ 8割 が肯定的
- (3) 地域行事に参加していますか？【回答：中3】
58.2%（全国平均41.6%）
全国平均より 17% 高い

雲南市が取組む若手人材育成

(若者チャレンジ)の取組み

若手人材育成塾

「幸雲南塾」若者チャレンジ講座」

次世代を担う若手人材を育成しようと、平成23年度より市内外の塾生を募り開講している幸雲南塾(大人版)。これまで35人の塾生を輩出し、第4期となる今年は25人の若者が参加しています。

塾では先輩起業家の取り組み事例を学び、自らが取り組む活動プランを立案し、地域課題の解決や地域資源の活用などをグループで議論します。半年間、行動しながらプランを練り上げ、最終報告会で成果を発表します。

各回の講座に、塾生以外にも多くの一般聴講者が参加し、また遠くは宮城県からも参加があり、志のある市内外の若者が地域とつながり、ネットワークが広がっています。塾卒業生の中には、地域と密着して活動を継続・展開する塾生や、起業した塾生もいます。

さらに、若手人材を発掘し、育成、ネットワーク化するこの取り組みは、新たなモデルとして、東北など全国七カ所に波及しています。

また、塾卒業生を中心としたまちづくり団体「NPO法人 おっちラ

世代や職種を越えて

つながるネットワーク

幸雲南塾に取り組む中で、市内の学生が大学生、社会人となつたり、互いに学び合い、雲南市の未来について話し合う機会を作りたいという思いが生まれ、それを形にしたのが昨年11月に開催した「うんなん若者会議」です。

市内の高校生・大学生・社会人の若者約80人が集結。食・アート・教育医療の3つのテーマに分かれて「こんなことしてみたい。」というアイデアを話し合いました。参加者からは「高校生だからそのアイデアや社会人の大人のアイデアなど、自分にはない考え方がたくさんあって、刺激をうけました。(高校生)や」高校生のプレゼンの上手さに驚きまし

ボ(代表 矢田明子さん 正会員10人)が誕生し、若者や地域支援などの活動を展開しています。そして、塾生プランの事業化・起業のサポートや地域支援、若者が地域とつながるための支援も行っています。

た。世代の違う人と交流して、意見を互いに言ったり聞いたりできる場があるのはすごくいいと思います。(社会人)などの感想が寄せられました。会議でまとめた提案を形にしようとして、4月の「雲南桜まつり」に、「若者チャレンジプロジェクト」と題して、アート、演劇、ごはん、写真の4部門に分かれ、中学生から社会人まで述べ211人が参加し、まつりを盛り上げてくれました。

若者が世代や職種を越えてつながり、学び合い、刺激し合うことで若者たちの活動がさらに活発化するきっかけとなりました。

これからの雲南市の

若者チャレンジ

雲南市ではこれまでキャリア教育と若者チャレンジ支援に取り組んできました。この取組みは、子どもたちのふるさとへの愛着心の高まりや社会起業や地域貢献を志す若者の発掘・育成につながっています。さらに、高校生や雲南市出身大学生を巻き込んだ地域づくり活動や、雲南市に通いながら地域づくりにチャレンジする若者が現れるなどの現象が生まれています。

人口減少など地域での様々な課題の解決に向け、若者、地域、事業所、行政が世代や職業の枠を超えて協力し合い、次世代を担う若者を育成し、持続可能なまちへと歩みを進めていかななくてはなりません。

の組織を育成・支援し、若者のチャレンジを支える必要があります。さらに、市内外の若者が地域課題の解決にチャレンジする活動の場づくりや若者チャレンジを推進するスキル(能力)をもった若者を呼び込むことを計画中です。

雲南市はキャリア教育や若者チャレンジの更なる推進により、若者がいきいきと地域の課題解決に取り組むまちづくりに挑戦します。

雲南市の若者チャレンジの取組みなどを、雲南市ブランドサイト(<http://www.co-unnan.jp/>)で発信中。是非ご覧ください!

市内でがんばる若者紹介

Uターンして新規就農。ネギやイチゴ、お米の栽培に取り組む傍ら、毎週土曜日には自宅縁側を開放して縁側カフェも家族で営業。「NPO法人おっちラボ」が雲南市立病院や地域自主組織と連携して取り組む医療系人材の育成と合わせた地域活性化事業に協力し、医療系学生に農家暮らし体験を提供されています。

若者へのメッセージ

若いみんなで雲南市を盛り上げていこう!



三島拓朗さん
三島ファーム(大東町上久野)

地域の空き施設を改装した交流施設「佐世だんだん工房」(大東町西阿用)で地元の食材を生かそうと、地元のお米を使った米粉麺を作り提供され、農薬・添加物を使わない食材にこだわり、アレルギー症状のある方にも安心して食べてもらえる食品を提供したいと活動中です。雲南市が行っている田舎体験ツアーでは、「大原・クシナダ倶楽部(代表 錦織謙さん 会員10人)」の皆さんにもお世話になっています。



三原綾子さん
大原・クシナダ倶楽部(大東町西阿用)

若者へのメッセージ

みんな違ってみんないい!自分自身の感性を信じて歩いていこう!



若者チャレンジプロジェクト

体感フェア@桜まつりにて、うんなん若者会議で練ったプランを実行!! 多くの中高校生がボランティアスタッフとして参加しました。

うんなん若者会議2013

高校生から社会人まで世代を超えて議論しました。



うんなん若者会議 2013



幸雲南塾(大人版)

最終報告会直前の様子です。みんなで円陣! 気合注入!

第3回「幸雲南塾 2014 ～若者チャレンジ講座～」開講 7/19



講師 友廣裕一さんの講演の様子

今回のテーマは「チャレンジプランを描く」。旧中野幼稚園に40人を超える参加者が集いました。ゲスト講師は一般社団法人つむぎや代表理事 友廣裕一さん。東日本大震災以降、石巻市に滞在し、牡鹿漁協の女性達と共に、漁網の補修糸や鹿の角を使ったミサンガやアクセサリー作り、雑魚を使ったお弁当屋の開店などを通じた「コトおこし」について話されました。めざすのは、利益ではなく、地域住民の笑顔の最大化。人と人のつながりを大切にしながら、地域の人々の思いを形にして、国内外へも届けていく仕組みをわかりやすく丁寧に話していただきました。幸雲南塾講座も残すところあと2回、塾生同士のつながりも強まり、互いに協力しながら「コトおこし」にチャレンジします！

今回のテーマは「チャレンジプランを描く」。旧中野幼稚園に40人を超える参加者が集いました。ゲスト講師は一般社団法人つむぎや代表理事 友廣裕一さん。東日本大震災以降、石巻市に滞在し、牡鹿漁協の女性達と共に、漁網の補修糸や鹿の角を使ったミサンガやアクセサリー作り、雑魚を使ったお弁当屋の開店などを通じた「コトおこし」について話されました。めざすのは、利益ではなく、地域住民の笑顔の最大化。人と人のつながりを大切にしながら、地域の人々の思いを形にして、国内外へも届けていく仕組みをわかりやすく丁寧に話していただきました。幸雲南塾講座も残すところあと2回、塾生同士のつながりも強まり、互いに協力しながら「コトおこし」にチャレンジします！



グループで議論を行う塾生たち

7/20 第2回スペシャルオリンピックス日本・島根夏季地区大会 バスケットボール開催

スペシャルオリンピックス（SO）は、知的障がいのある人たちに日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である協議会を年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。このスポーツプログラムに参加しているアスリートたちが、日頃のトレーニング成果を競い合い、すべての参加者と交流を深める目的で開催された夏季地区大会バスケットボールが、三刀屋文化体育館アスパルで行われ、アスリート16人とボランティア60人が参加しました。

速水市長もスペシャルゲストとして参加し、アスリートたちと競技を楽しみました。



大会に参加したアスリートたち

レスリング全国大会で快挙!! 7/25~26

国立代々木体育館（東京都）で行われた、第31回全国少年少女レスリング選手権大会にY u - G a k u加茂スポーツクラブのレスリング教室から8人の子どもたちが出場しました。

結果は、28kg級のおのまさのすけ小野正之助さん（松江市・内中原小・5年）、24kg級のおのこなみ小野こなみさん（松江市・内中原小2年）が見事に優勝し、小野正之助さんは4連覇、小野こなみさんは2連覇を達成しました。

また、32kg級のとりめゆうた鳥目裕太さん（加茂小5年）は準優勝、30kg級のくろたかりふ黒田佳吏夫さん（加茂小5年）は3位と健闘しました。（表紙右下に写真掲載）



左から鳥目裕太さん、小野正之助さん、小野こなみさん、黒田佳吏夫さん



木質チップボイラー

三刀屋健康福祉センターで平成25年10月から行ってきた木質チップボイラー設置工事が完了し、7月からボイラー稼働を開始しました。

三刀屋健康福祉センターに木質チップボイラー設備完成 7/10

三刀屋健康福祉センターで平成25年10月から行ってきた木質チップボイラー設置工事が完了し、7月からボイラー稼働を開始しました。

このボイラーは、木質チップを燃料に発生した熱を使って、給湯設備と冷暖房の空調設備に利用しています。

こうしたチップボイラー施設は、すでに稼働中の波多温泉「満壽の湯」（掛合町）と、現在工事中のおろち湯ったり館（木次町）を加えた3施設となり、市民の皆さんにご協力いただいている「市民参加型収集運搬システム」で集めた林地残材の継続的な活用を図っていきます。

7/12 雲南市東京ふるさと会開催

アルカディア市ヶ谷私学会館（東京都千代田区）で、雲南市東京ふるさと会第4回交流会が開催され、総勢89人が参加し親睦を深めました。

交流会に先立ち、雲南市制施行10周年記念として、市長よりこれまでの10年の振り返りとこれからの10年への抱負について講演がありました。

その後、交流会を行い、久しぶりに会う同郷の方々の交流の輪がそこかしこにできていました。

今年は、雲南市からの一般の参加者や新しい会員の加入もあり、大いに盛り上がりました。



参加者全員で記念撮影




自衛隊員用ミニ制服を着る子どもたち

地域の防災力を高め、さらに安全・安心なまちづくりを～昭和39年山陰北陸豪雨災害復興50年記念式典開催～ 7/19

昭和39年山陰北陸豪雨災害復興50年を記念し、加茂文化ホールラメールにおいて記念式典を開催し、340人が参加しました。

来場者全員で黙とうを捧げた後、市長が「復興から50年が経ち、市制施行10周年を迎えるにあたり、改めて39年の災害を教訓とし、雲南市の地域防災に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めていくことを決意します」と式辞を述べました。

その後、記録映像上映や神戸大学名誉教授 室崎益輝さんの講演なども行われました。また、「地域の防災力を高めるために」と題したイベントも同時開催され、カレーの炊き出しや災害救援車の展示、機関車を主人公にした「39水害フックュー大作戦」の紙芝居など、多くの家族連れで賑わっていました。また、B & G加茂海洋センターでは、「防災訓練避難所宿泊体験」も開催され、11人の子どもたちが炊き出しや救急法を体験していました。

8/2  **菅谷たたら山内高殿左官工事
見学会開催**

国の重要有形民俗文化財に指定されている「菅谷たたら山内高殿」（吉田町）は、老朽化に伴い平成24年度から保存修理工事を行っています。

この見学会は、教育委員会が実施し、午前と午後のグループに分かれ、一般参加者40人と地元の自治会のみなさんが参加されました。中には、東京や広島から参加された方もありました。

保存修理工事の設計管理業務にあたる株式会社文化財保存計画協会研究員の木本泰二郎さんから工事の概要や特徴などを聞いた後、保存修理現場を見学し、すでに完成している「こけら葺き」や、現在行われている左官工事の様子を見学しました。その後参加者は、左官職人の宮本秀二さんの指導のもと、こてを使ってわらを混ぜた土を塗る「壁土塗り」を体験しました。高殿は今年11月末完成予定です。



壁土塗り体験をする参加者たち

ストップ・ザ・交通死亡事故!!

7/25 

5月から7月までの間に、市内で4件の交通死亡事故が発生し、雲南市は2回目の交通死亡事故多発警報を発令しました。このような事態を受け、雲南警察署による「ストップ・ザ・交通死亡事故」雲南市総決起集会在、三刀屋農村環境改善メインセンターで開催されました。

総決起集会には、雲南地区交通安全協会や雲南市老人クラブ連合会等から約150人が参加し、

- スピードダウンの徹底
- 夜光反射材の着用
- 前方注視・左右の安全確認の徹底
- 過労・居眠り運転の防止
- 道路横断時の安全確認の徹底



緊急アピール宣言をする雲南市老人クラブ連合会
副会長 内田弘一

の緊急アピールを宣言し、より一層交通安全に対する意識の向上を図りました。

第58回島根県消防操法大会～安全、迅速、確実な操法を披露～

8/4 



ポンプ車の部に出場した掛合方面隊掛合上分団の消防操法

成績は、ポンプ車の部で、掛合上分団が5位入賞、小型ポンプの部では春殖分団が6位、吉田分団が10位という結果でした。


出場された各方面隊の選手の皆さん、選手を支えてこられた消防団員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

松江市東出雲町錦浜ふれあい広場で行われた第58回島根県消防操法大会に、島根県内の消防団からポンプ車の部に13チーム、小型ポンプの部に18チームが参加しました。この大会は、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与するために行われています。

雲南市消防団からは、掛合方面隊掛合上分団がポンプ車の部に、大東方面隊春殖分団及び吉田方面隊吉田分団が小型ポンプの部に出場しました。



小型ポンプの部に出場した大東方面隊春殖分団の消防操法

7/27  **大東中学校野球部、
島根県中学野球大会で2年ぶりの優勝!**

浜田市野球場など4会場で開催された第68回島根県中学校野球大会において、大東中学校野球部が見事2年ぶり3回目の優勝を飾りました。

また、この大会には雲南市から、加茂中学校、三刀屋中学校も出場し、いずれもベスト8に勝ち残り、あらためて雲南市のレベルの高さを証明する結果となりました。

なお、大東中学校野球部は、8月7日～8日に山口県下関市で開催された中国大会に出場し、3位と健闘しました。



大東中学校野球部の選手のみなさん

たたら&ヤマタノオロチ伝説ツアー開催

7/31 

教育委員会が、ふるさと教育プログラムの一環として、市内の小・中学生を対象に毎年開催している「ヤマタノオロチ伝説ツアー」。小学生やガイド役の高校生、大学生も参加して、市内のヤマタノオロチ伝承地を巡りました。初めに、「日本初之宮」といわれる「須我神社」を訪れ、高校生による紙芝居「やまたのおろち」の読み語りを聴き、神社をお参りました。午後からは、現在保存修理工事中の「菅谷たたら山内高殿」の見学も行いました。



紙芝居「やまたのおろち」の読み語りの様子



雲南市成人式～成人としての自覚を持ち、精進する～

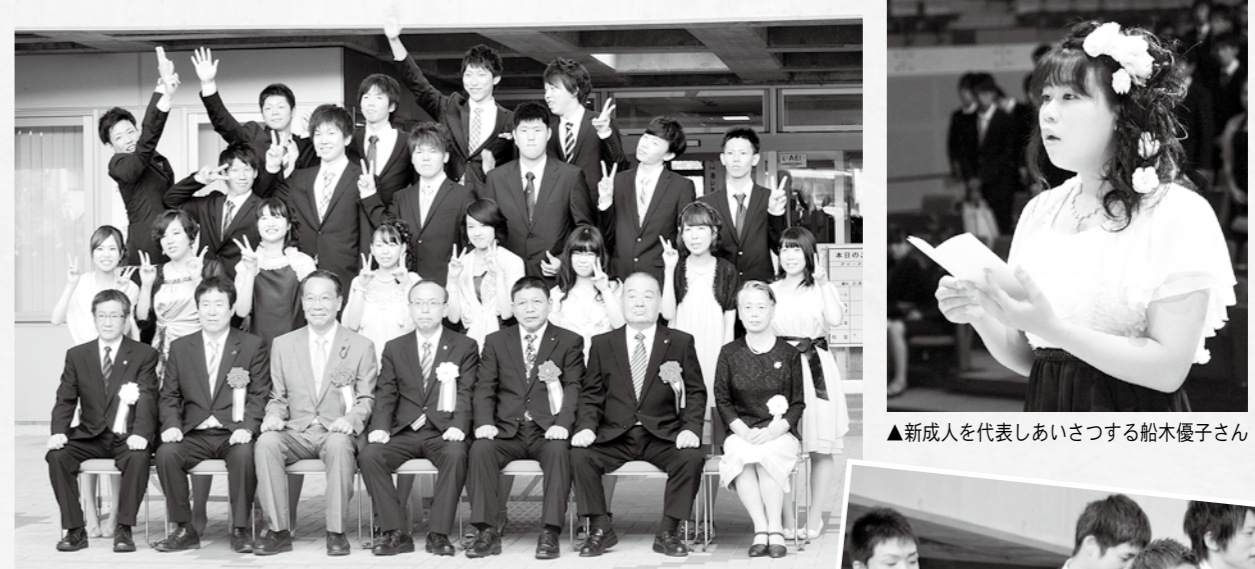


三刀屋文化体育館アスパルで平成26年度雲南市成人式が行われ、330人（平成6年度生まれの新成人は440人）の新成人が出席し、人生の節目に誓いを新たにしました。

式典で藤井副市長は、「様々な交流を通し芽生えるご縁や、人のつながりは、雲南の持つ何にも代えがたい魅力であり、新しい動きを生み出す力になることは間違いありません。今後より多くの方に「雲南に住んでみたい」と思っただけの魅力的なまちを創造していくためには、若いみなさんの情熱や発想力が必要です。雲南市のよりよい未来のために、共に力をあわせていきましょう。」とお祝いのことばを新成人に贈りました。

また、新成人を代表し三刀屋町の船木優子さんが、「私たちが生まれ育った雲南市は、空気や水がきれいで緑豊かな土地です。また、いつもやさしく声をかけてくださる地域の皆様をはじめ、心温かい人たちがたくさんいらっしゃいます。成人となった私たちは今後、社会の一員としてふるさと雲南を大切にし、よりよい雲南市になるよう努めていきます」と誓いのことばを述べました。

新成人たちは、久しぶりに会った友人と写真を撮ったり、近況を報告しあったりしていました。



▲新成人を代表しあいさつする船木優子さん

▲掛合町出身の新成人のみなさん



▲式典後、記念行事として六子さんのコンサートも行われました



市長コラム

中山間地域の農業を守るために

7月半ばに、中山間地域の農業振興についての研究会（ルーラル・ミーティング）が、雲南市で開催されました。島根県農業農村整備推進協議会が主催し、国の農政改革に中山間地域の農業の実態等を反映させるため、当該地域である雲南市内での現地調査を踏まえて国との意見交換等が行われました。

この研究会は平成17年度から毎年県内各地で開催され、今回が10回目となりますが、雲南市では平成20年にも開催されています。

前回は、平野部にはない中山間地域ならではの「ため池」の状況が視察され、その多くが老朽化している実態を理解した国の農政を引き出すためでした。その結果、国、県の補助事業が実現しました。

そして今回は、農地中間管理機構の設置、米の生産調整の見直し、*日本型直接支払制度の創設など農政改革元年とも言われる今年、今までも増して地域の実情を見渡し、全国一律でない農政の推進を強く求めるための開催でした。国も地方の声に耳を傾ける機会を求めています。農政に限らず、地方はそうした機会を積極的に創ることが大切だと思います。

※農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動（維持管理等）や営農活動に対して支援する制度



パネルディスカッションの様子

雲南病院だより

地域包括ケア病棟開設のお知らせ

9月より

4階西病棟を「地域包括ケア病棟」に変更いたします。

【地域包括ケア病棟とは】

急性期治療を終了し、病状が安定した患者さんに対して、在宅等への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。在宅復帰をスムーズに行うために「在宅復帰支援計画」に基づいて、主治医、看護師、専従リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者等が協力して、効率的に患者さんのリハビリや在宅支援を行います。入院期間は、60日を限度としております。

【地域包括ケア病棟への入棟の流れ】

急性期治療を経過後、病状が安定したと主治医並びに関連職種が判断し、患者さんやご家族の方の了承が得られた場合、地域包括ケア病棟へ移動していただきます。

—地域包括ケア病棟対象患者—

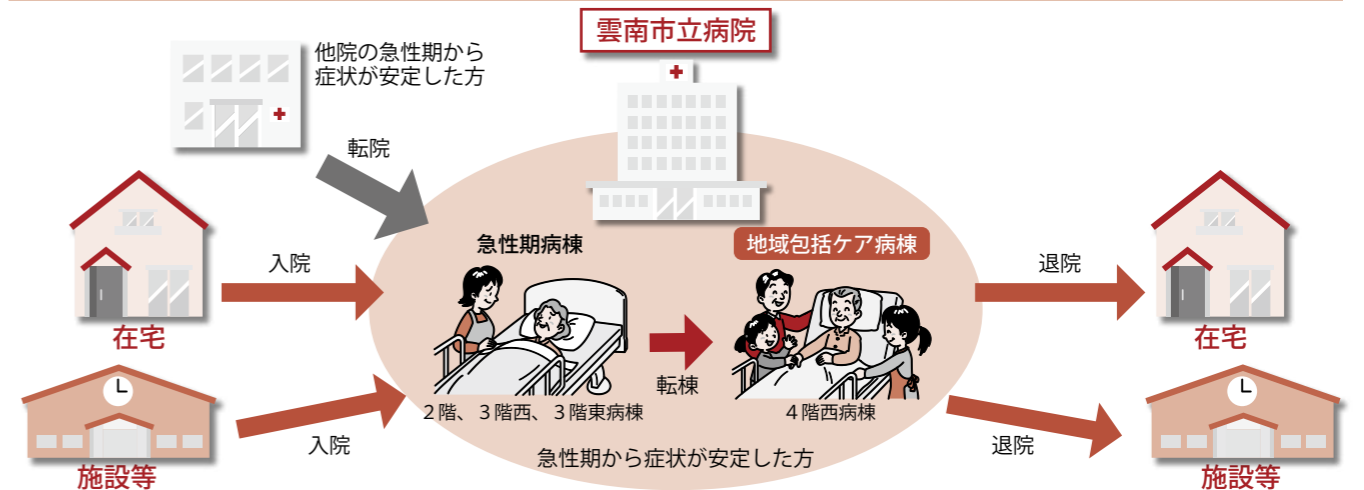
在宅あるいは施設に退院予定の方で主に次の患者さんが対象です。

- 症状は改善したがもうしばらく経過観察が必要な方
- 症状が安定し在宅復帰に向けてリハビリが必要な方
- 在宅での療養準備が必要な方

【医療費について】

定められた地域包括ケア病棟入院料を算定します。月の医療費負担は一般病棟の場合と負担上限は変わりません。

地域包括ケア病棟のイメージ



問い合わせ先

健康管理センター 保健推進課地域連携係 ☎ 0854-43-3602
 事務部 情報管理課医事係 ☎ 0854-43-2390 (代表)



今年の夏も「ハチに刺されました」といって救急外来に
 来られる方が増えてきました。特に最近ではメディアを通し
 てハチ刺傷の恐ろしさが伝えられており、不安な表情で受
 診されることが多くなっています。
 そこで、ハチ刺傷の何が恐ろしいのか、ハチに刺された
 ときにどんなことに注意したらよいのか、そしてハチに刺
 されないようにするにはどうしたらよいのか、についてま
 とめてみました。

■怖いのはハチの毒ではなくて人間のアレルギー反応

ハチに刺された場合、ハチの毒の直接作用で死に至ることはまずありません。ハチの毒が体内に入ることによって全身のアレルギー反応が起こり、全身じんま疹、呼吸困難、意識障害が生じ、いわゆるショック状態となると、早急に適切な処置をしなければ命にかかわります。これを「アナフィラキシーショック」といいます。小麦やそば等の食べ物アレルギーで起きることもありますが、日本ではアナフィラ

キシーショックによる死亡で最も多い原因はハチ刺傷です。ちなみに動物や虫が原因の死因第一位もハチ刺傷で年間30〜40人と言われています。

■もしもハチに刺されたら…

まず何はともあれ冷静になることです。実際軽症の場合でもパニックとなって全身症状を起こし重症化することがあります。まず冷静になった上で次のような場合は必ず医療機関を受診してください。
 ①ハチに刺された部分だけで

- なく、他の部分や全身に発疹が出たとき
- ②呼吸困難や動悸、息切れないなどの呼吸・循環器症状、吐き気や嘔吐、腹痛などの消化器症状が現れたとき
- ③ハチの大群に襲われ、何か所も刺されたとき（特にスズメバチ）
- ④2回目以降のハチ刺傷で、特に以前、全身症状が出たことがある場合

その他、頭痛や顔面蒼白、気分不良など、とにかく刺された部分以外の症状が現れた場合にはアナフィラキシー反応の危険性がありますので、できる限り早く医療機関を受診してください。アナフィラキシーショックは受傷から数分〜30分以内に起こり、発症までの時間が短いほど重症といわれています。まずは冷静に、そしてその後の症状の出現にご注意ください。

刺された部分だけの症状（※発赤、痛み、かゆみなど）でしたら、流水で洗い流し、冷やすのみで徐々に軽快しますが、時間を置いて全身症状が出ることもあり、注意は必要です。
 ※発赤…皮膚が赤くなること

■ハチに刺されないために…

この季節、ハチに刺されないように心掛けることも大事です。ハチの習性やよくある刺傷状況をもとに別表にまとめてみました。

- #### 別表
1. ハチの巣に近づかない（オオスズメバチ10m、アシナガバチ3m）
 2. 黒い服や花柄の服を着ない
 3. 野外で甘いものを食べない
 4. 香りの強い香水をつけない
 5. 急な動きをしない
 6. 洗濯物に紛れ込まないように注意する
 7. 袖口や襟の締まった服装にする

■おわりに

ハチの中でも最も毒の強いスズメバチは、春から夏にかけて巣をつくり、11月にかけて出産、子育ての時期を迎え、凶暴化するといわれています。この地域でもまだまだ油断のできない季節です。地域の皆さんどうかお気をつけて。そして万が一刺されてしまった場合は遠慮なく病院にご相談ください。

※ハチ豆知識～毒針について～

スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチのうち、刺した後に針が残るのはミツバチだけです。これはミツバチの毒針には逆とげがついているためです。スズメバチ、アシナガバチには逆とげがほとんどなく、皮膚に残らないのですが、そのかわり何度も刺することができるそうです。こわいですね。



スズメバチ



アシナガバチ



ミツバチ

展示コーナーのご紹介

絵手紙友の会



大東おりづる会



夏季高校生医療現場体験セミナー

7月29日に雲南圏域の高校生を対象とした医療現場体験セミナーを開催しました。雲南市内の高校を中心（5校20人）に医師、看護師、薬剤師などをめざす学生が参加し一日体験を行いました。看護師志望の高校生は、それぞれの病棟で血圧測定体験や車いす介助、実際に患者さんと会話をしながら手足を洗淨するなど、看護の基礎となる体験を行いました。患者さんから笑顔をいただいたり、「ありがとう」と声をかけてもらい、とても良い励みになったようです。



▲病棟での体験



▲薬剤科での体験

（エコー）の体験を行い、放射線科ではMRIやCTなどの説明を受けました。また、体験終了後に医師、看護師、薬剤師などとの意見交換会を行い、高校生は志望する職種について詳しい質問をしたり、職員はこれまでの体験談を語ったりと大変盛り上がりしました。セミナーの最後には体験した高校生に対し修了証を交付し、1日の体験活動を終えました。

高校生一日助産師体験

7月30日に高校生助産師体験を行い、3人の高校生が参加しました。当日は残念ながら新生児を見ることができませんでしたが、妊婦体験や新生児モデルを使った沐浴・おむつ交換など助産師が行う業務を体験してもらいました。また、4月からスタートした助産外来「ここまち」を見学してもらい、来院された妊婦さんのおなかの赤ちゃんの心音を聞いてもらいました。

参加した高校生からは「この体験を通じ、助産師になりたいという気持ちが一層強くなりました。しっかりと勉強して資格を取り、雲南地域で活動できる助産師になりたいです」という力強い言葉をもらいました。



高校生のボランティア活動

7月31日から8月15日まで、大東高校の生徒5人が正面玄関の介助ボランティアを行いました。毎日介助ボランティアをしていただいている病院ボランティアさんと一緒に、患者さんの乗用車から車椅子への乗り換えと移動を手伝ってくれました。患者さんと触れ合うことにより、地域の方々のコミュニケーションの大切さを実感したようです。また、8月1日には同じく



▲沐浴体験



▲妊婦体験



▲介助ボランティアを行う大東高校生



▲コンサートの準備を行った大東高校生と病院ボランティアの皆さん

大東高校の生徒が、七夕行事として行っている大笹の飾り付けや正面玄関へのすいか提灯の取り付け、恒例となった院内七夕コンサートの舞台設営などの作業をボランティアさんと一緒に、病院の七夕イベントを盛り上げてくれました。

院内サロンふれ愛

9月・10月の開催日：

9月12日（金）・26日（金）

10月10日（金）・24日（金）

時間：午後1時30分から3時30分

場所：雲南市立病院 南棟2階 ドック検診室

お気軽にお越しください。

病気についての不安を抱える患者さま・ご家族の交流の場であり
情報交換・学習の場です。参加費等は必要ありません。
どなたでも自由に参加できるサロンです。

問い合わせは…雲南市立病院 保健推進課 電話 0854-43-3602

9月10日は世界自殺予防デーです。この日を含む1週間は、「自死や精神疾患についての正しい知識を普及し、偏見をなくし、命の大切さや危険を示すサイン、危険に気づいた時の対応方法について、理解の促進を図ること」を目的とした自殺予防週間です。

全国の自殺者数は、15年ぶりに3万人を下回った平成24年からさらに減少しました。島根県の自殺者数も減少傾向にあります。全国と比較して自死率が高く、年間160人の方が亡くなっています。

ひとりで悩まないで
一人ひとりの
大切ないのち



雲南市では平成21年度から、「自死防止総合対策検討委員会」を立ち上げ、自死防止を目的とした啓発や人材育成、研修会など様々な活動を関係機関が連携して取り組んでいます。昨年は地域の皆さんと「自死の少ないまちづくり」について考える研修会を開催しました。



「あなた自身の心は大丈夫ですか?」「あなたの周りで苦しんでいる人はいますか?」誰もが心のバランスを崩す可能性があります。大切な人の命を救う3つのポイントは、
①悩みに気づき、耳を傾ける
②専門家に相談するよう促す
③寄り添い、じっくり見守る ことだと言われています。

～心の健康相談～

雲南市では、心の健康相談を次の日程で開催します。
ご相談は健康推進課まで電話でご連絡いただき、「保健師に替わって」とお伝えください。
★9月10日(水) 午前9時から午後5時まで★
相談窓口：雲南市役所 健康推進課
☎ 0854-40-1045

もしもあなたの周りからそんな人がいたら、まずはやさしく声をかけ、ゆっくり話を聞いてみてください。

＊「自死」と「自決」の違い
雲南市では昨年、公文書、市報、啓発資料などは「自死」を表記の基本とし、固有名詞や統計用語、法令や法律等で用いられるものに関しては「自決」を用いることとし、2つの言葉を使い分けて使用することになりました。

菅谷たたら歴史物語
第四弾 「鉄穴流し」後編



▲「菅ノ鉄穴場跡」左手に菅谷川が流れており、砂鉄を流す水路の川側には砂を排出する水路が作られています。菅谷たたら山内の古絵図にも描かれる鉄穴場がそのまま遺される貴重な遺跡です。

今回は、たたら製鉄に欠かせない「木炭」についてご紹介します。

鉄穴流しという言葉は、砂鉄をとるため川岸で砂を掘ります。するとその場所に穴が開き、その穴を鉄の穴と呼び、転じて山の土砂を流して砂鉄をとる方法を鉄穴流しとよぶようになったといわれています。初め頃は、山頂(峰)に水を引き、水と一緒に山頂から山を崩して下に流していたと想像されますが、だんだん大量に土砂を崩す方法が考えられ、井出(水路)を通し、長い柄の打撃で山を掘り込み、崖状にして上部の土砂を崩落させる方法になりました。鉄穴流し作業は、冬季節の仕事で農民にはまたとない副業となりました。一方農民はよい鉱脈を探して秋の彼岸からこの鉄穴流しを始めるまでに、水を引き、準備万端を整えておくことになりました。作業期間は、下流の農民の農耕との関係で秋の彼岸から春の彼岸までとされてきました。この一期間で砂鉄が100トン採取できれば上々でありました。

9月で満1歳
おめでとう
わが家の
HOPE

高島真一さん・泉さんのお子さん
きょうか 京香ちゃん (大東町山王寺)
平成25年9月9日生まれ
きょうちゃん、1歳おめでとう。元気に大きくなあれ。

舟木靖博さん・ひとみさんのお子さん
としふみ 壽史ちゃん (大東町仁和寺)
平成25年9月5日生まれ
お誕生日おめでとう。いっぱい笑う壽ちゃんが、大好きだよ。たくさん遊んで大きくなあれ。

藤原貴志さん・智子さんのお子さん
せいや 成弥ちゃん (大東町上佐世)
平成25年9月13日生まれ
1歳のお誕生日おめでとう。お兄ちゃんに負けずに元気で明るい子に育ってね。

杉村卓哉さん・美紀さんのお子さん
ひかりちゃん (木次町東日登)
平成25年9月17日生まれ
誕生日おめでとう。おじいちゃんのお米、おばあちゃんの野菜たくさん食べて大きくなろうね。

福岡 将さん・弓子さんのお子さん
えいた 瑛太ちゃん (木次町山方)
平成25年9月14日生まれ
瑛太、1才おめでとう。パワーあふれる瑛太に驚かされてばかりです。心優しくたくましく大きくなあれ。

別所陽志さん・美香さんのお子さん
りく 李空ちゃん (大東町清田)
平成25年9月27日生まれ
りく1歳おめでとう。たくさん食べて元気いっぱい大きくなあれ。

内田幸治さん・直美さんのお子さん
けいた 恵大ちゃん (加茂町立原)
平成25年9月22日生まれ
元気に産まれてくれてありがとう。スクスク大きく育てて元気パワーをちょうだいネ。

しょうた 翔大ちゃん (加茂町立原)

10月で満1歳(平成25年10月生まれ)のお子さんを募集!
写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③ご両親の名前(ふりがな)、④住所、⑤電話番号、⑥コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで9月8日(月)までに情報政策課へお送りください。
【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次 1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係
E-Mail を送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

※市ホームページにも情報などを掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当該課から電話がないときは問い合わせください。

若槻 尚さん・久美子さんのお子さん
はすみ 羽純ちゃん (木次町新市)
平成25年9月29日生まれ
はすみちゃん1歳おめでとう。お兄ちゃんといっばい遊んで、いっぱい笑って大きくなあれ。

こげなことしとーます



研究所 うんなん

このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

地域運動指導員のみなさんを紹介します (吉田町)

雲南市では、市民のみなさん自身など、からだを動かすことの楽しさや大切さを伝える「地域運動指導員」のみなさんが活躍されています。今回は、吉田町で活躍されている6名(全8名)の指導員に話を聞きましたので紹介します。



吉田町の地域運動指導員さん
 [左上より] 堀江良子さん、若槻 勉さん、堀江三重子さん
 [左下より] 岡田清野さん、渡部悦子さん、錦織弘子さん
 他2名(長瀬裕子さん、大家真木子さん)

地域運動指導員のみなさんの声

「やっつけて良かったこと」運動教室参加者にスーパードライなど「運動を続けて頑張るとるよ」と声を掛けてもらうと、とても嬉しい気持ちになる。同時に、「自分も運動して元気でいたい」と思い、自身の健康意識が高まった。

「大切に思っていること」吉田町には高齢者総合福祉施設「ケアポートよしだ」がある。そこで長年地元の高齢者の健康・体力づくりを支えてきた、先輩指導員のみなさんの活動・思いを引き継ぎ、私たちも得意分野を活かして、自分たちなりに出来ることを考えて地域へ貢献していきたい。

地域運動指導員を

「もっと知ってもらいたい」今はまだ知名度が低い。どんな活動をPRして、いつか「あの人はあんなこととして下さいけん来てもらうか」と言ってもらえるように努力していきたい。

地域のサロンや老人クラブ、自主グループなどでの運動あそびや体操紹介、近所での声かけ活動などで、健康づくりのお手伝いをされています。ぜひ、みなさんも地域運動指導員と一緒にからだを動かしてみませんか？

身体教育医学研究所うんなん
 ☎0854-4510300

市役所からのお知らせ

おめでとう
 ごぞいさま

叙位
 従六位 地方自治功労により
 故 山根真一郎さん (三刀屋町)

ありがとうございます
 ごぞいさま

加茂中学校
 寄附金 加茂遊学倶楽部 (加茂町)
田井小学校
 一輪車 コカ・コーラウエスト株式会社 (福岡県福岡市)

ふるさと納税
 稲木 訓子さん (東京都杉並区)
 宇田川 康司さん (松江市玉湯町)
 遠藤 祥子さん (神奈川県横浜市)
 太田 憲二さん (広島県広島市)
 大屋 将洋さん (天理市)
 小川 武さん (松江市東出雲町)
 勝部 敦史さん (東京都目黒区)

国民健康保険 被保険者証の更新
 市民環境生活課
 ☎0854-401031

10月1日に国民健康保険被保険者証(保険証)を更新します。新しい保険証は、世帯ごとに簡易書留郵便で9月中旬に発送する予定です。

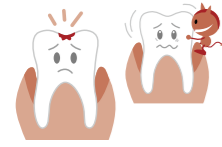
保険証の色は、現在使っておられる保険証と同様で、一般被保険者分が「ふじ色」、退職被保険者分が「オレンジ色」です。

10月1日以降医療機関にかかるときはこの保険証をお使いください。

【注意】
 次のいずれかに該当する方は市役所で手続きをしてください。
 ■既にほかの医療保険に加入しているが国保保険証が届

受けられましたか? 歯周疾患検診
 健康推進課
 ☎0854-401045

9月末まで行っています。自己負担はありません。自分の歯や口の健康づくりのためにこの機会にぜひ受けてみましょう。
 ※対象者には個別通知いたします。



Hello Everyone うんなんでしよう

国際交流員(CIR)の迷言コーナー

こんにちは、ダニエルです。

6月から8月まではアメリカの夏休みです。毎年8月の最後の週に、家族みんなでインディアナ州から国を横切って、サウスカロライナ州の海へ車で旅行します。

とにかく運転時間が長いです。1日目は朝6時ごろに出て、夜10時まで、昼食以外休憩せずに車に乗っています。子どもの頃は気づいていませんでしたが、運転する父はすごい体力を持っていたと思います。そして、一晩ホテルで泊まった後、2日目は6時間かけてようやく海に到着し、いよいよ休みの始まりです。

家族全員が疲れはてているにもかかわらず、すぐ水着に着替え、海で泳いだり、砂の城を築いたりします。父と一緒にカタマラン(双胴船)に乗って、

猛スピードで海上を航行するのも毎年の楽しみです。夕方になると、潮が満ちて砂の城が徐々に崩れていきますが、その出来事が夕ご飯の時間を告げてくれるので、意気込んで水浴びした後はコンドミニウム(マンションタイプの宿泊施設)に戻って食べる準備をします。毎晩、家族みんなでおばあさんの美味しい料理を食べて本当に幸せです。

先月、一年ぶりに家族に会いに帰国しました。自分がどこへ行っても家族はいつも待っていてくれます。家族は大切な存在ですね。

農林土木課
 たんぼの学校が開校
 稲刈りコース
 ☎0854-401053

日本棚田百選に選ばれた「山王寺の棚田」で、田んぼを学びと遊びの場に活用してみませんか。
 ご家族皆さんで農業体験をしてみませんか。

【日時・場所】
 9月28日(日)
 午前8時半～正午
 大東町山王寺地内

【定員】
 30家族程度(定員になり次第締切ります)

【参加費】
 大人 1,000円/人
 小、中学生 200円/人

9月の税金

- ・国民健康保険料 (第3期)
- ・後期高齢者医療保険料 (第3期)

納期限は 9月30日(火)

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

終戦当時の引揚者・その家族の皆様へ

市民環境生活課
☎0854-40-1031

税関ではお預かりしている通関・証券などをお返ししています。返還の申し出は、ご本人またはご家族の方でもできます。

●終戦後、外地から引き上げてこられた方が、上陸港の税関・海運局に預けられた通関・証券など

●外地の終結地において総領事館、日本人自治会などに預けられた通関・証券などのうち日本に帰還されたもの

【問い合わせ先】
境税関支署
(境港市昭和町11-18)
☎0859-42-2228

下水道への接続を!

下水道課
☎0854-42-3471

下水道に接続することで、汚水が浄化され、河川や海がきれいになります。美しい自然環境を守り、より豊かな生活環境を築くため、積極的に下水道に接続しましょう。

第32回 掛合町ふるさとまつり 駅伝 2014
全長2kmのコースを走りぬけ!!

【日時】10月12日(日)
開会式 14:30~

【場所】掛合中学校グラウンド周辺

【出場資格】中学生以上の健康で体力に自信のある方(中学生のみによる出場チームは、保護者の承諾が必要です)

【参加料】1チーム:4,000円(保険料込み)

【募集締切】9月10日(水)必着

【問い合わせ・申込先】
掛合町ふるさとまつり実行委員会事務局
(掛合総合センター内 自治振興課)
☎0854-62-0300

出場者大募集!!

しまね東部若者サポートステーション
雲南出張相談会

産業推進課
☎0854-40-1052

しまね東部若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱える若年者の自立に向けて、心理カウンセリングやキャリアカウンセリングなどを実施します。

ご本人はもちろん、保護者やご家族の方、関係機関の方々からのご相談もお受けします。相談は無料ですが、事前予約が必要です。

【日時・場所】
9月24日(水)

【一部】午前9時~正午
ハローワーク雲南

【二部】午後1時~午後3時
雲南市勤労青少年ホーム
(毎月の第4水曜日開催)

【対象者】
15歳~概ね40歳まで

【問い合わせ】
しまね東部若者サポートステーション(サポステ松江)
☎0852-33-7710

第32回掛合町ふるさとまつり かけやスイーツコンテスト 参加者募集

第32回掛合町ふるさとまつりにおいて、「かけやスイーツコンテスト」を開催します。このイベントでは、雲南市産の材料を1つでも使用して作成した、スイーツのデザインや味覚を競っていただきます。スイーツ作成に自信のある方や団体からの、沢山のご応募をお待ちしております。

【日時】10月12日(日) 10:30~ **【場所】**掛合中学校グラウンド周辺

【出場資格】スイーツの販売を専業としない、個人・団体 **【賞金・参加賞】**優勝5万円、準優勝3万円、参加賞1万円

【募集締切】先着5チーム 9月10日(水)必着

【問合せ・申込】掛合町ふるさとまつり実行委員会事務局(掛合総合センター内 自治振興課) ☎0854-62-0300

社会保険労務士によるねんきん相談会

市民環境生活課
☎0854-40-1031

日本年金機構松江年金事務所では、市民の皆様の利便を図るため、島根県社会保険労務士の協力により、ねんきん相談を実施します。

相談には、ねんきん定期便等をお持ちください。

代理人の場合は委任状が必要です。

日時、場所は次のとおりです。

相談日	場所
9月24日(水)	木次総合センター
11月26日(水)	大東総合センター

時間はいずれも午前10時から午後3時30分まで

DV防止セミナー

男女共同参画センター
☎0854-42-1767

DV(配偶者やパートナーからの暴力)やデートDV、性犯罪、売買春、セクシュア

加茂よついで祭り実行委員会
出店者募集

加茂よついで祭り
10月26日(日)開催の「加茂よついで祭り」会場での出店者を募集します。テントでの飲食物や物品の販売・体験コーナー等の催しをされる個人または団体を対象とします。楽しくにぎやかな「マルシェ」(「市場」の意)になりますよう、ご応募をお待ちしています!

ルハラスメント、ストーカー行為など女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害する行為です。男女が対等なパートナーとしてさまざまな分野で活躍できるように社会から暴力をなくしましょう。

【日時】
10月11日(土)
午後2時~午後4時

【場所】
チェリヴァホール
3F・大会議室

【講師】
河野 美江さん(島根大学保健管理センター准教授)

【その他】託児サービス(無料) ※要予約

【出店場所】
加茂よついで祭り会場内(加茂文化ホールラメール北広場)

【出店料】
1区画1,000円
(福祉事業所を除く)

【申込方法】
所定の出店申込書を提出してください。出店要領と申込書類は申込先にあります。

※出店スペースに限りがあるため、応募多数の場合には調整させていただきます。

【申込締切】
9月8日(月)(厳守)

【申込先・問い合わせ先】
加茂交流センター内 加茂よついで祭り実行委員会
よついでマルシェ担当
☎0854-49-8380
FAX 0854-49-6042

NHK編成局 コンテンツ開発センター
☎03-5455-7742

NHKBSプレミアムで放送されています「にっぽん横断こころ旅」で紹介するエピソードを募集します。

皆様の心にある雲南市内の風景や景色を、エピソード

こころ旅
番組ホームページ▶

添えてご紹介ください。寄せられたお便りをもとに、旅人ひのしょうがい、火野正平さんがこころの風景を訪ねます。

島根県の放送予定は、10月13日(月)~17日(金)

【締切】
9月16日(火)必着

【郵送される場合のあて先】
〒150-8001 NHK放送センター「こころ旅」係

①住所②お名前③電話番号④性別⑤年齢⑥思い出の場所⑦場所にあつわるエピソード⑧写真(あればOK)を明記の上、右記あて先までお送りください。

【インターネット】
送られる場合の宛先▶
<https://www.nhk.or.jp/kokorotabi/otegami/index.html>

社会教育課 ☎0854-40-1073
毎月第3日曜日は「うんなん家庭の日」です

9月21日

うんなん家庭の日

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。



中国横断自動車道尾道松江線建設促進期成同盟会
(事務局 尾道市)
☎0848-38-9316

中国横断自動車道「尾道松江線」は、今年度中の全線開通が予定されており、多くの人に親しまれる「尾道松江線」の愛称を募集します。

【応募資格】
どなたでも応募できます。

【応募期間】
9月30日(火)まで

※郵送の場合、当日消印有効
【応募方法・問い合わせ先】
〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号 尾道市政企画課内 尾道松江線愛称募集係

☎0848-38-9316
FAX 0848-37-2740
メール onomatsuboshu@city.onomichi.hiroshima.jp
尾道松江線ホームページ
http://www.ono-natsu.jp/

※詳しくは、道の駅及び市内総合センターへチラシを置いていただきます。



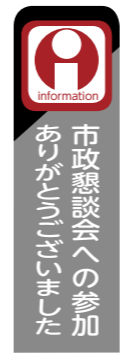
雲南広域連合
☎0854-45-5880

9月16日(火)より、雲南広域連合事務所は雲南消防本部庁舎内へ移転します。

【移転先事務所】
移転後住所
〒699-1311
島根県雲南市木次町里方1100-6

■移転後連絡先
総務課(総務係・財務係)
☎0854-47-7340
総務課(企画係)
☎0854-47-7341
FAX 0854-42-1911

●介護保険課
☎0854-47-7342
☎0854-47-7343
FAX 0854-47-7344



情報政策課
☎0852-22-5700

本年度の市政懇談会は、7月10日から8月5日にかけて、市内8会場で開催し、約600人の市民の皆様に参加していただきました。
参加いただいた皆様から



島根県シルバー人材センター連合会
☎0120-78-1142

島根県シルバー人材センター連合会では、55歳以上の方の就職・就業を支援するため、技能講習を開催します。

【期日】
10月21日(火)～11月6日(木)までのうち11日間

【場所】
島根県シルバー人材センター連合会

【受講条件】
55歳以上で各講習に関連する仕事への就職を希望または関心のある方

【募集人員】
20人

【受講料】
無料

【申込締切】
10月7日(火)

【日時】
10月27日(月)～11月7日(金)までのうち9日間
【場所】
出雲商工会館



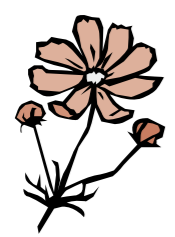
ポリテクセンター島根
☎0852-31-2309

【受講条件】
55歳以上で各講習に関連する仕事への就職を希望または関心のある方

【募集人員】
15人

【申込締切】
10月10日(金)

【訓練期間】
12月2日(火)～
平成27年5月28日(木)



の、たくさんの方の貴重なご意見は、策定中の各種事業の執行にあたり参考にさせていただきます。たいと考えています。

なお、市政懇談会の報告書は、まとまり次第、各地域自主組織及び自治会へお送りします。あわせて、各総合センターで縦覧できるようにすることも、市のホームページにも掲載いたします。



島根県情報政策課
☎0854-45-5880

島根県では、パソコンやインターネットなどの「あいてい」(IT:情報通信技術)の活用を熱心に取り組まれている高齢者の方の知事表彰制度を設けています。

【表彰の対象者】
パソコン・インターネットなどのITの活用を熱心に取組まれている県内在住の65歳以上の方、または、これらの方々を中心に組織されたグループから知事表彰者を選考します。

このような方々をお待ちし

ております。

- 特産品などをインターネットを活用して紹介・販売しています。
- ホームページで地元風景や伝統芸能を情報発信しています。
- その他、ITを活用して地域での交流や地域振興などに関わっています。

【応募方法】
■郵送
〒690-8501 松江市殿町1番地 島根県地域振興部情報政策課「島根あいてい達者」係
■メール送信
infosys@pref.shimane.lg.jp

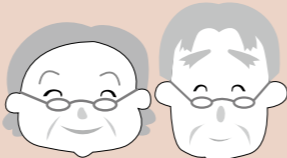
■電子申請
「島根あいてい達者」知事表彰 ホームページ内、応募方法「しまね電子申請サービス」をクリック

【応募締切】
9月30日(火)消印有効

「老人の日・老人週間」における県立施設の無料開放

老人の日及び老人週間の9月15日(月)から9月21日(日)までは、次の県立施設で高齢者を対象に入館料が無料になります。

【対象者】 年内に満65歳以上になる方(昭和24年12月31日以前に生まれた方)
【申請方法】 入館時に対象者であることが確認できるもの(運転免許証、健康保険証など)を提示して手続きをしてください。



施設名	開館時間	電話	施設名	開館時間	電話
県立美術館	10:00～ 日没後30分	0852-55-4700	県立三瓶自然館 サヒメル	9:30～17:00	0854-86-0500
県立八雲立つ風土記の丘 展示学習館	9:00～17:00	0852-23-2485	三瓶小豆原 埋没林公園	9:00～17:00	0854-86-9500
花ふれあい公園 「しまね花の郷」	9:30～17:00	0853-20-1187	県立しまね海洋館 アクアス	9:00～17:00	0855-28-3900
県立古代出雲 歴史博物館	9:00～18:00	0853-53-8600	県立石見美術館	10:00～18:30	0856-31-1860
県立宍道湖自然館 ゴビウス	9:30～17:00	0853-63-7100			

※経路など詳細については、各施設にお問い合わせください。
なお、「しまね花の郷」、「三瓶小豆原埋没林公園」以外は、9月16日(火)が休館日です。

【問】長寿障がい福祉課 ☎0854-40-1042

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。



【申込締切】 9月30日(火)

【受講料】 無料

【募集人員】 20人程度

【受講条件】

介護分野の資格をお持ちで次のいずれかの方
①以前、福祉・介護業務に就いていた経験があり、介護職として再就労を希望される方
②福祉・介護業務未経験で、介護職として就労を希望される方

【期日】

10月20日(月)～23日(木)

【会場】

あさひ乃苑ホール (松江市古志町)

【参加料】

あさひ乃苑ホール

あさひ乃苑ホール

介護分野の資格を有しながら、福祉・介護サービス事業に従事していない潜在的有資格者を、スムーズに就職へ結びつけるための支援を目的として開催します。

島根県社会福祉協議会

0852-3215957

0852-3215957



社会教育課

0854-4011073

【日時】 11月16日(日)

9時30分 スタート

【場所】

さくらおろち湖周辺

オリジナルコース

【種目】

◎一般(中学生以上)(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

◎小学生(男・女)

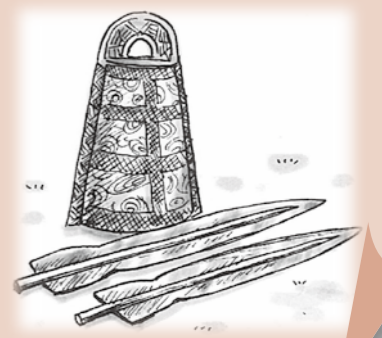
◎小学生(男・女)

「出雲神話検定」にチャレンジしてみませんか!



日本最古の歴史書として712年に献上された「古事記」は、2012年に編纂1300年を迎えました。古事記の記述には出雲系神話が約3分の1占めていると言われ、なかでも斐伊川流域にはヤマタノオロチ等に関する伝承地が数多く存在しています。そこで、「出雲神話」に関係する地域の商工会が連携して「出雲神話検定」を実施します。出雲神話に関する事柄を学び、かつて当地に存在した豊かな文化を感じてみませんか。

- 【試験日時】 11月16日(日) 10時～11時 (試験時間60分)
- 【試験会場】 雲州そろばん伝統産業会館、三刀屋交流センター、飯南町商工会館、斐川町商工会館
- 【募集期間】 9月19日(金)迄 ※期日必着
- 【出題数】 初級試験 50問 (四者択一)
中級試験 50問 (四者択一、一部記述式)
上級試験 50問 (四者択一、記述式)
- 【受験料】 初級試験 1,000円 中級試験 2,000円 上級試験 3,000円 小・中高生 500円
- 【教材・講習】 検定試験に向けて、教材・受験対策講習会を設けています。
- 【日時】 上級 10月4日(土) 13:30～16:30
初・中級 10月5日(日) 10:00～16:00
- 【場所】 三刀屋交流センター
- 【申込方法】 各商工会のホームページまたは窓口に設置してある募集チラシ裏面の「受講申込書」により申し込みください。
- 【主催】 出雲神話検定実行委員会 (奥出雲町・雲南市・飯南町・斐川町各商工会)
- 【問い合わせ先】 雲南市商工会
☎(0854)45-2405 FAX(0854)45-2446



「母子父子寡婦福祉資金」予約貸付受付中

母子及び父子並びに寡婦福祉資金の予約貸付の申請を受付けています。

- 1. 対象となる方**
平成 27 年 4 月の進学等を希望している
 - 児童を扶養する母子家庭の母または父子家庭の父
 - 20 歳以上の子を扶養する寡婦
 - 父母のない児童
- 2. 対象となる資金**
 - 児童の進学等を対象とする資金 (※貸付はいずれも無利子です)
 - ・修学資金……高等学校、大学、高等専門学校または専修学校に就学するための授業料、書籍代、交通費などに必要な資金
 - ・修業資金……就職するために必要な知識技能を習得するために必要な資金
 - ・就学支度資金…就学、修業するために必要な入学金や被服などの購入資金
 - 母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦の知識技能習得を対象とする資金 (※連帯保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は年 1.5%)
 - ・技能習得資金…就職するために必要な知識技能を習得するために必要な資金
- 3. 提出していただく書類等**
必要な書類については、事前に相談してください
 - 貸付申請書 ※
 - 戸籍及び住民票の写し
 - 島根県税の納税証明書
 - 前年の収入額が確認できる書類 (児童扶養手当証書の写しの提出をもってかえることができます)
 - 修学修業先 (技能習得先) 調書 ※
 - 修学・修業のために必要な金額が分かる参考資料
 - 口座振替申出書 ※ など

※の用紙は子育て支援課にあります
- 4. 申込締め切り**
 - 第 1 次締め切り……平成 26 年 11 月末
 - 第 2 次締め切り……平成 27 年 2 月末
- 5. ご注意**
独立行政法人日本学生支援機構法による奨学金など、他制度による奨学金の貸与を受ける方は、児童の進学等を対象とする資金の対象となりません。
- 6. 問合せ・申込先**
雲南市子育て支援課 ☎0854-40-1044
島根県青少年家庭課母子福祉グループ ☎0852-22-6688・6689

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

「道の駅グルメライドin中国山地」を開催します

広島県三次市を発着とし、庄原市、奥出雲町、雲南市、飯南町の2県5市町にまたがる全長124kmのコースで、サイクリングイベント「道の駅グルメライド in 中国山地」を開催します。コース沿線にある6つの道の駅を巡りながらサイクリングを楽しんでいただくイベントです。

大会当日は、多くの自転車が走行します。沿線にお住まいの皆さんのご声援をお願いします。(市内走行予定時間 10:30~15:00)

【日 時】 10月5日(日) 午前7時30分~午後5時30分

【市内のコースとなる道路】

主要地方道掛合上阿井線、国道54号

※奥出雲町から上記道路を経由し飯南町に向かいます。

【申込先】 <http://www.sportsentry.ne.jp/event/t/43283>

【申込締切】 9月7日(日) まで

【主 催】 「道の駅グルメライド in 中国山地」実行委員会
(三次市・庄原市・奥出雲町・雲南市・飯南町・つじのバイシクルクラブ)

【問い合わせ】 三次市建設部土木課 ☎0824-62-6305

http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/kensetsu_m/mitinoekigurumeraidointyuugokusanti.html



司法書士
無料法律相談

島根県司法書士会では、司法書士による遺産相続、不動産の売買、ローンの返済、悪質商法、裁判、調停、成年後見等高齢者の財産管理などさまざまな法律相談・登記相談を行います。

また、高齢者・障がい者のための成年後見相談会もあわせて行います。

成年後見制度は、認知症や知的障がい・精神障がい等により判断能力が不十分な方々が、財産侵害を受けたり、尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で保護・支援する身近なしくみです。

この相談会では、本人はもちろん、親族や養護者の方々の不安や相談に無料でお答えします。

◆松江会場
【日時】 9月20日(土)
午後1時~午後5時
【場所】 島根県司法書士会館

◆出雲会場
【日時】 9月20日(土)
午後1時~午後5時

【場所】 今市コミュニティセンター

「島根イン青山」の利用

島根県人事課
☎0852-22-6005

「島根イン青山」は、東京都内に宿泊する島根県民の皆様が安価で安心して泊まれるホテルです。ビジネスに、観光に、ぜひご利用ください。

【予約先】 県民専用フリーダイヤル
☎0120-62-3510

※県民予約サイトもありますので、「島根イン青山」で検索してください。

【県民料金】
●シングル: 5,900円
●ツイン・ダブル: 9,200円
(いずれも1泊税込料金)

※宿泊時に島根県民であることを証明する(運転免許証、健康保険証等)ものが必要です。

【アクセス】
●JR浜谷駅より都営バスにて約5分
●地下鉄表参道駅より徒歩約12分

【所在地】 東京都港区南青山7-1-5

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用の一部助成制度の終了と10月からの定期接種について

10月1日より予防接種法が改正され成人用肺炎球菌ワクチンが定期接種ワクチン(国が国民に接種を推奨するワクチン)に指定されることに伴い、平成23年度より実施している高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成制度を終了します。9月30日以前に接種された場合の費用助成申請は、接種された日から2か月間受け付けます。

10月1日以降は雲南市でも予防接種法に基づき実施します。詳細は今後、市報等でお知らせします。

【現行制度(9月30日まで)】 一部助成対象者
接種時年齢 70歳~74歳の方
助成金額 3,000円

【問い合わせ】 雲南市健康推進課 ☎0854-40-1045



雲南市全町が会場となる音楽祭

熱い音 UNNAN

赤ちゃんも一緒に

雲南あちこちコンサート
全会場入場料無料

【問】 ラメール ☎(0854)49-8500

8/31(日) 吉田町 長寿寺
野津雄太
フルートコンサート
(17:00~18:00)

9/6(土) 三刀屋町 旧中野幼稚園
山崎啓史
トランペットコンサート
(14:00~15:00)

9/13(土) 大東町 出雲大東駅
クレオール弦楽四重奏
コンサート
(14:00~15:00)

9/14(日) 加茂町 Aコープかも店
島根大学
声専コンサート
(14:00~15:00)

9/20(土) 井 掛合町 波多交流センター
仲道郁代
ミニコンサート
(19:00~20:00)

9/13(土) 木次町 サンチェリヴァ
高橋陽香
サクソフォンコンサート
(17:00~18:00)

100万回のハグよりも、2回のはしかワクチンを。

厚生労働省 文部科学省

はしかワクチンの接種は1歳になったら1回、小学校入学前の1年間にもう1回。

感染力の強いはしか(麻疹)は、空気を介して人から人へうつるため、手洗いやマスクだけでは予防できません。ワクチンの接種だけが、感染を防ぐただひとつの方法です。十分な免疫をつけるためには、2回の接種が必要です。

私たちが、麻疹対策を積極的に応援します。

1歳になったら1回。
就学前にもう1回。

石田純一 東尾理子

厚生労働省 麻しん 検索
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/>

いきいき運動川柳 2014 募集!!

身体教育医学研究所うんなんでは、今年も「いきいき運動川柳」の募集を行います。川柳とは、俳句と同じ5・7・5の17句の限られた字数でユーモアやシャレ、社会的風刺をおりませながら、対象や事柄を表す「言葉遊び」です。

最近では、代表的なものに「サラリーマン川柳」があり、みなさんも読まれたことがあるのではないのでしょうか？

いきいき運動川柳で、健康のために実践している運動のことや体を動かしている様子、またその中で感じていること等を表現してみませんか？

クスッと笑ってしまうユニークな川柳をお待ちしています！



最優秀賞作品 「背をのばす 全身のばす しわのばす」
 優秀賞作品 「ウォーキング 出かけたつもりが 立ち話」
 「バキボキと 伸ばした背骨が やごを言う」
 「不自由に なってはじめて 夫婦愛」
 「ホームラン ホームに帰ろう 試合後も」

【応募資格】

雲南市に在住、在勤、在学の方ならどなたでも応募できます。(お1人様3首まで。4首以上応募の場合は無効)

【応募方法】

下記①～③の内容を川柳に添えて、応募用紙、メールまたはハガキにて応募先までお送りください。
 ①氏名(フリガナ) ②性別・年齢 ③連絡先(郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス)
 ※ご応募いただいた内容(個人情報)は、身体教育医学研究所うんなん以外の第三者に提供することはありません。

【応募締切】12月5日(金)…当日消印有効

【発表】平成27年3月

受賞者には、直接通知し、副賞として図書カードを贈呈します。また、ホームページ・市報などで公表、研究所が運動を普及する際に活用させていただくほか、広く紹介していきます。

【応募先・問い合わせ】〒690-2404

雲南市三刀屋町三刀屋1212-3
 身体教育医学研究所うんなん
 「いきいき運動川柳2014募集係」
 ☎0854-45-0300
 メールアドレス：
 shintaikyouikuigaku@city.unnan.shimane.jp



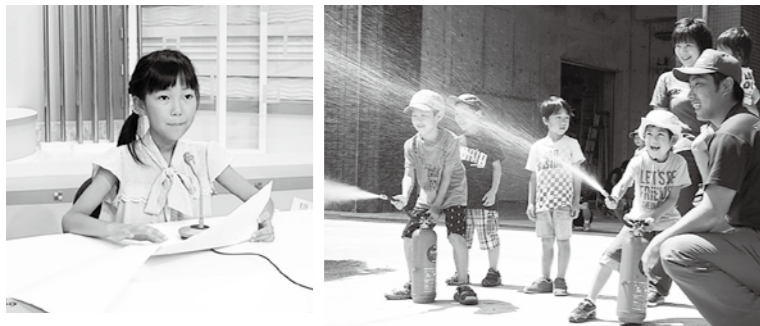
放課後 子ども教室

うんなん元気っ子わくわく教室は、土・日曜日及び夏休み、冬休みなど長期休業を利用し、雲南市の子ども達が「楽しく・面白く」「安全・安心に」「いつでも」「どこでも」参加できる魅力ある教室を開催しています。キラキラ雲南が管理するラメール、チェリヴァホール、アスパル、大東体育館、B&G海洋センター、古代鉄歌謡館、図書館などの市内の社会教育施設を利用し、それぞれの施設の特徴や専門性を生かしたプログラムを実施しています。

施設外では、尾原ダムを湖面を利用したおろちっ子キャンプなど自然体験学習活動も充実しています。

夏休みは楽しい教室をたくさん用意しています。本物の仕事を体験できる「プロフェッショナル職場体験」は、実際の現場で活躍されている本職の方にそれぞれの仕事を直接教えてもらえる大人気の教室です。

年間シリーズの教室には、松江工業高等専門学校先生の指導で電子ピアノやロボットを作る「科学のひろば」や、島根大学の先生の指導でドライアイズを使



った理科の実験などを行う「わくわくサイエンス」という教室があります。このようにわくわく教室では、
 ・より専門的な体験や学習ができる教室
 ・雲南の豊かな自然を体験できる教室
 ・地元の方が特技を生かし先生として活躍されている教室
 など、地域とネットワークを結びながら子ども達が安心して体験活動や交流ができる場を提供しています。

☎0854-40-11073
 【問】社会教育課

日本一短い 感謝の手紙

vol.45

◇今回は家族へ送りあう手紙を紹介します。

【今回は加茂町の方々の感謝の手紙です。】

お母さんへ
 いつもありがとう。たんじょう日はケーキを買ってあげるからね。これからもよろしくおねがいします。
 息子より

息子へ
 お母さんは、あなたが生まれてきてくれた事が一番うれしいです。ケーキ、おいしかったです。ありがとう。
 お母さんより

お父さん、お母さんへ
 いつもごはんを、作ったり、サッカーをしてくれてありがとう。
 息子より

息子へ
 負けず嫌いで、頑張り屋さんのあなた。これからも元気ですくすく育ってね。サッカーも頑張れー！
 お父さん、お母さんより

お母さんへ
 毎日、毎日お仕事と家事おつかれ様。いろいろ大変だと思っけれどがんばってね。いつもありがとう。
 娘より

娘へ
 いつもお手伝いありがとう。「美味しい」笑顔と朝の明るい「行って来ます」がお母さんの頑張る力の元になるから。お母さんより

特殊詐欺(還付金詐欺、オレオレ詐欺)にご注意を!

◆医療費の還付金詐欺について

公的機関の職員を名乗る者が「あなたが支払った医療費に過払いがあるので還付する」などと電話をかけ、キャッシュカードを持参させ、近所のスーパーなどのATMに誘導します。電話で指示しながらATMを操作させ、知らないうちに指定口座へ振り込ませ、現金をだまし取る手口です。

◆オレオレ詐欺について

息子(孫)を装う者から「株で失敗した」「友人の借金の保証人となってしまった」などの電話が突然あり、現金をだまし取られる手口です。また、親族だけでなく、会社の上司や警察官、弁護士などを装い、会社でのトラブルや交通事故の示談金目的で現金をだまし取る手口もオレオレ詐欺に当たります。

アドバイス

◆医療費の還付金詐欺の場合

●行政機関であれば書類による手続きが必要です。何の手続きもなく医療費が還付されることはありません。
 ●キャッシュカードを利用することによって現金が還付されることはありません。暗証番号を尋ねられても、絶対に教えないでください。

◆オレオレ詐欺の場合

●オレオレ詐欺を見破った方は「本物の息子とは声や話し方が違った」「話の内容に矛盾があった」などと、日頃から家族間の連絡を取りあっていたため、被害を防止できたとのこと。
 ●お金を払う前に、自分の方から息子(孫)さんに確認の電話をかけましょう。

問い合わせ 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



9月議会

【問】議会事務局 ☎ 40-1004

◆雲南市議会 9月定例会		
本会議（開会・施政方針表明・議案上程・説明）	5日(金)	9:30～
本会議（一般質問）	8日(月)～11日(木)	9:30～
予算審査特別委員会・決算審査特別委員会	11日(木)	本会議終了後
産業建設常任委員会	12日(金)	9:30～
教育民生常任委員会	16日(火)	9:30～
総務常任委員会	17日(水)	9:30～
決算審査特別委員会（分科会）	18日(木)～22日(月)	9:30～
産業建設常任委員会	24日(水)	9:30～
教育民生常任委員会	25日(木)	9:30～
総務常任委員会	26日(金)	9:30～
予算審査特別委員会・決算審査特別委員会	30日(火)	9:30～
本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	10月2日(木)	13:30～

議 場



9月の健診・教室など

【問】健康推進課 ☎ 40-1045

◆育児相談		
三刀屋子育て支援センター	1日(月)	9:30～
加茂子育て支援センター	1日(月)	
掛合子育て支援センター	10日(水)	
木次子育て支援センター	19日(金)	
地域福祉センターおおぎ	25日(木)	
◆妊婦サロン		
木次子育て支援センター	19日(金)	10:00～
◆離乳食教室		
木次健康福祉センター	16日(火)	9:30～

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	18日(木)	13:00～（4か月児） 13:30～（10か月児）
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	25日(木)	13:00～（4か月児） 13:30～（10か月児）
幼児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	3日(水)	13:00～（3歳児）
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	11日(木)	13:00～（1歳6か月児）

◆断酒会		
加茂健康福祉センター	1日(月)	19:00～21:00
吉田ふる里センター	4日(木)	
大東交流センター	9日(火)	
下熊谷交流センター	15日(月)	
掛合まめなかセンター	17日(水)	
三刀屋健康福祉センター	29日(月)	

◆胃がん検診（要予約）			受付時間
人間交流センター	9日(火)	8:30～9:30	19:00～21:00
波多交流センター	9日(火)	10:00～11:00	
大東健康福祉センター	19日(金)	8:30～11:00	
加茂町内	24日(水)、25日(木)、26日(金)		
吉田町内	16日(火)、17日(水)		

◆子宮頸がん検診（要予約）			受付時間
吉田健康福祉センター	22日(月)	9:00～10:00	19:00～21:00
田井交流センター	22日(月)	10:30～11:30	
木次健康福祉センター	22日(月)	13:30～14:30	
◆集団特定健康診査（要予約）			受付時間
木次健康福祉センター	3日(水) 4日(木)	9:00～10:30 13:00～14:00	

加茂健康福祉センター	5日(金)	9:00～10:30
	8日(月)	13:00～14:00
	9日(火)	
三刀屋文化体育館 アスパル	18日(木)	9:00～10:30
	19日(金)	13:00～14:00
掛合体育館	30日(火)	9:00～10:30 13:00～14:00

◆その他相談				
認知症の人と家族の会サロン「色えんぴつ」	雲南保健所	4日(木)	10:00～15:00 (都合のつく時間にお出かけください)	
【問】地域包括支援センター	☎ 40-1043			
こころの健康&もの忘れ相談		10日(水)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所	☎ 42-9642			
就業相談会（移動ナースバンク）	ハローワーク雲南	10日(水)	13:00～16:00	
【問】雲南公共職業安定所	☎ 42-0751			
雲南サロン「陽だまり」		11日(木) 25日(木)	10:00～15:00	
【問】雲南保健所	☎ 42-9638			
交通事故巡回相談	出雲市役所	18日(木)	9:00～15:00	
【問】交通事故相談所	☎ 0852-22-5102			
難病サロン「ひまわり」		19日(金)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所	☎ 42-9638			
アルコールによる困りごと相談		22日(月)	13:00～15:00	
【問】雲南保健所	☎ 42-9642			
難病サロン	しまね難病相談支援センター	25日(木)	13:30～15:30	
【問】しまね難病相談支援センター	☎ 0853-24-8510			

【問】長寿障がい福祉課 ☎ 40-1042

◆雲南市障がい者支援活動				
料理教室	奥出雲健康センター	2日(火)	10:00～13:30	
アウトドア料理教室	飯南町保健福祉センター	17日(水)	11:00～13:30	
【問】地域活動支援センター	パレット	☎ 45-0020		

献血 【問】市民環境生活課 ☎ 40-1031

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。				
吉田町	吉田総合センター	4日(木)	9:20～11:20	
掛合町	島根イーグル棟		13:00～15:00	
	掛合総合センター		16:00～17:00	

※内容、場所、日時の順に記載。
市外局番は記載のないものは いずれも 0854。

9月 子育て支援センターなどのスケジュール

大東 教室・相談				
大東子育て支援センター (おおぞら保育園2階)	子育て教室 (おおぞら保育園学童棟)	4日(木)	9:30～11:30	
	赤ちゃん教室 (おおぞら保育園学童棟)	9日(火)	9:30～11:30	
	子育て相談	12日(金)、26日(金)	10:00～16:00	
	ちびっこ運動会 (大東健康福祉センター)	30日(火)	9:30～11:30	
	福祉センターおおぎ 子育て相談	25日(木)	9:30～11:00	
子育てサロン				
木馬(おおぎ)	毎週火・木曜日	9:30～15:30		
ぼかぼかひろば(幡屋交流センター)	1日(月)	9:30～11:30		
よちよち(旧く野幼稚園)	3日(水)	9:30～11:30		
ぽっぽ(佐世交流センター)	11日(木)	9:30～11:30		
うしお(海潮交流センター)	12日(金)	9:30～11:30		

地域サークル				
佐世交流センター	18日(木)	9:30～11:30		
大東健康福祉センター	19日(金)	9:30～11:30		
幡屋交流センター	22日(月)	9:30～11:30		
保育園開放日				
大東保育園	毎週水曜日	試食の予約:前日16:00まで		
かもめ保育園	毎週金曜日	試食の予約:前日16:00まで		
おおぞら保育園	毎日	試食は金曜のみ 試食の予約:当日9:00まで		
問い合わせ先	▶大東保育園 ☎43-6132	▶かもめ保育園 ☎43-5028	▶おおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500	▶地域福祉センターおおぎ ☎43-5610

加茂 支援センター				
加茂子育て支援センター	たんぼひろば(お月見会)	3日(水)	10:00～(1時間程度)	
	お茶会(※要予約)	5日(金)	10:00～(1時間程度)	
	たんぼひろば(おはなしの会)	10日(水)	10:00～(1時間程度)	
	誕生会(※誕生児は要予約)	17日(水)	10:00～(1時間程度)	

加茂 教室・相談				
加茂子育て支援センター	育児相談	1日(月)	9:30～11:30	
	離乳食もぐもぐ教室(5～6ヵ月児)	4日(木)	10:00～(※要予約)	
	離乳食もぐもぐ教室(7～8ヵ月児)	11日(木)	10:00～(※要予約)	
	離乳食もぐもぐ教室(9～11ヵ月児)	18日(木)	10:00～(※要予約)	
	妊婦サロン(たまごクラブ)	24日(水)	10:00～	

子育てサロン				
加茂交流センター	ぶちつくしっ子広場	26日(金)	10:00～	
問い合わせ先	▶加茂子育て支援センター ☎49-8355	▶加茂交流センター ☎49-8380		

木次 支援センター				
木次子育て支援センター	ぶどう狩り(要予約)	9日(火)	10:00～	
	誕生会(誕生児は要予約)	11日(木)	10:30～	
	ミュージックケア(1歳未満、要予約)	12日(金)	10:00～	
	ブルーベリー狩り(要予約)	18日(木)	10:00～	
	オリジナルプレート作り(要実費、要予約)	26日(水)	10:00～	
畑に行こう!(要予約)	30日(日)	10:00～		

出前保育				
西日登交流センター		10日(水)	10:00～	
教室・相談				
木次子育て支援センター	ベビーマッサージとママの軽運動(3～7ヵ月要予約)	2日(火)	10:00～	
	ベビーマッサージ(3～7ヵ月、要予約)	16日(火)	10:00～	
	育児相談	19日(金)	9時半～11時受付	
	妊婦サロン(要予約)	19日(金)	10:00～	

社協子育てサロン(にこにこクラブ)(参加費 一家族100円)				
日登交流センター		17日(水)	10:00～	
木次中学校		24日(水)	9:45受付	
問い合わせ先	▶木次子育て支援センター(斐伊保育所併設) ☎42-2030	▶雲南市社会福祉協議会木次支所 ☎42-9080		

三刀屋 支援センター				
三刀屋子育て支援センター	育児相談	1日(月)	9:30～11:30	
	ベビーマッサージ(要予約 対象:8ヵ月未満)	5日(金)	10:00～	
	おはなし会	12日(金)	10:00～11:00	
	あそぼう広場	19日(金)	10:00～11:00	
問い合わせ先	▶三刀屋子育て支援センター ☎45-9500			

吉田 保育所開放日				
田井保育所		3日(水)	9:30～11:30	
吉田保育所		4日(木)	9:30～11:30	
社協子育てサロン(あいあいクラブ・掛合子育て支援センター)				
吉田健康福祉センター	ミニ運動会	19日(金)	9:30～11:30	
問い合わせ先	▶吉田保育所 ☎74-0330	▶田井保育所 ☎75-0201		
	▶雲南市社会福祉協議会吉田支所 ☎74-0078	▶掛合子育て支援センター ☎080-2909-4713		

掛合 保育園開放日				
夢の子園	保育所開放日	24日(水)	9:00～11:00	
	昼食試食会	24日(水)(要予約・メシ17日)	11:00～12:00	
	夢の子運動会	27日(土)(要予約・メシ19日)	9:00～11:30	
支援センター(分室)				
好老センター	お月見誕生会	3日(水)(要予約)	9:30～11:00	
	子育て相談日	10日(水)	9:30～11:00	
分室	お話の日	18日(木)	10:30～11:00	
	秋の遠足	17日(水)(要予約・メシ10日)	10:00～14:00	
お問合せ	▶掛合子育て支援センター ☎080-2909-4713	▶かけ夢の子園 ☎62-9900		

図書館だより

大東図書館 ☎0854-43-6131	
9月の休館日	毎週金曜日、15日(月・祝)、23日(火・祝)、月末整理休館:30日(火)

イベント案内
☆こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 10:30～(15日はお休み)
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)

新着の本(抄)
▼有川浩「三匹のおっさん ふたたび」▼垣根涼介「勝ち逃げの女王(君たちに明日はない④)」▼桐野夏生「残虐記」▼近藤史恵「タルト・タタンの夢」▼馳 星周「帰らずの海」▼宙中 恵「つくもがみ、遊ぼうよ」▼藤野恵美「初恋料理教室」▼森 浩美「ほのかなひかり」▼矢崎存美「食堂つばめ③駄菓子屋の味」▼山本一力「戌亥の追風」▼山本兼一「赤絵そうめん」▼安野光雅「皇后美智子さまのうた」▼アントニオ・メンデス・マツ・パブリオ「アルゴ」▼蝶々「ひかりかた」▼上野千鶴子「女ざらい」▼グレン・グリーンウォルド「暴露 スノーデンが私に託したファイル」▼横山 泉「肝臓病の基本的食事」▼刈尾七臣「高血圧の基本的食事」▼君野倫子「手ぬぐいスタイルブック」▼シルク「シルクのべっぴん塾」▼大庭英子「取り分け&持ち寄り大皿レシビ」

木次図書館 ☎0854-42-1021	
9月の休館日	毎週月曜日、振替休館:16日(火)、23日(火・祝)、月末整理日:30日(火)

イベント案内
☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30～

新着の本(抄)
▼荻原 浩「二千七百の夏と冬①②」▼角田光代「平凡」▼久坂部 羊「芥川症」▼村山由佳「ありふれた愛じゃない」▼馳 星周「帰らずの海」▼葉室 麟「天の光」▼松井今朝子「老いの入舞い」▼伊岡 瞬「もしも俺たちが天使なら」▼劇団ひとり「青天の霹靂」▼逢坂 剛「幻の翼」▼佐伯泰英「居眠り磐音 江戸双紙シリーズ④ 弓張月」▼井川香四郎「樽屋三郎 言上帳シリーズ①～③」▼北村 薫「書かずにはいられない」▼A.A.ミルン 著 阿川佐和子 訳「ウィニー・ザ・プー」▼赤木かん子「子どもを本嫌いにしない本」▼武鹿悦子「星・武鹿悦子詩集」▼長田暁二 編著「日本のうた大全集 詩と解説」鎌田 實「アハメドくんのいのちのリレー」▼原 令子「プロが教える年金知識」▼油井宏子「手がかりをつかもう!古文書くずし字」▼海老澤 元宏 監修「食物アレルギーのすべてがわかる本」▼炭活用研究会 編著「図解 よくわかる炭の力」▼日野明子「台所道具を一生ものにする手入れ術」▼石田節子 監修「きもの着付けとお手入れがわかる本」▼JTBパブリッシング 編「るるぶ山陰'15」

加茂図書館 ☎0854-49-8739	
9月の休館日	毎週木曜日、15日(月・祝)、23日(火・祝)、月末整理休館:30日(火)

新着の本(抄)
▼山本一力「戌亥の追風」▼山本兼一「利休の茶杓」▼葉室 麟「天の光」▼佐藤雅美「わけあり師匠の顛末」▼志川節子「結び屋おえん 糸を手繰れば」▼辻井南青紀「縁結び任り候 結婚奉行」▼角田光代「平凡」▼大沢在昌「ライアー」▼北村 薫「八月の六日間」▼藤野恵美「初恋料理教室」▼碧野 圭「書店ガール ③」▼アンデルセン原作「アナと雪の女王」▼三和三級編「戦場からの手紙」▼日本を知る会編「若者を戦争に送る言葉」▼田中 仁「ボクらの村にも戦争があった 学校日誌でみる昭和の戦争時代」▼NHK取材班編「巨大戦艦 大和」▼近藤誠「不動産登記を見る・読むならこの1冊」▼清水俊彦監修「めまい・耳鳴りをすっきり治すコツがわかる本」

第24回「永井隆平和賞」発表式典

と き 9月14日(日) 13:00～15:30
と ころ 三刀屋文化体育館アスパル
【問】 社会教育課 ☎0854-40-1073

雲南市 市制施行10周年記念事業 雲南市創作市民演劇『Takashi』

脚本・演出：亀尾佳宏かめ およしひろ

と き 9月14日(日) <夕の部> 18:00開演
 9月15日(月・祝) <昼の部> 13:00開演
 <夕の部> 17:00開演
 ※開場は開演の30分前

と ころ 木次経済文化会館チェリヴァホール 2階ホール
入 場 料 一般1,500円(当日2,000円)
 高校生以下500円(当日1,000円)
 ※日時指定・全席自由・税込
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください

【問】 雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会事務局
 (チェリヴァホール内) ☎0854-42-1155

熱響UNNAN

～まちじゅうからクラシックがあふれだす!!～

仲道郁代ピアノ・リサイタル

と き 9月21日(日) 13:30開場 14:00開演
と ころ 加茂文化ホール ラメール
料 金 【前売】一般2,000円、
 高校生以下1,000円(当日各500円増)
 ※各町で開催する『雲南あちこちコンサート』の予定はP27をご覧ください
【問】 ラメール ☎0854-49-8500

幸雲南塾2014～若者チャレンジ講座～ 第5回「チャレンジプランを実践する」

～未来へつなげよう～

と き 9月27日(土) 13:30～17:30
と ころ 健康の森 創作研修棟
講 師 長友まさ美さん(サンワード・ラボ株式会社 代表)
 田鹿倫基さん
 (宮崎県日南市商工観光課マーケティング専門官)
【問】 政策推進課 ☎0854-40-1011

加茂町人権セミナー 「人の世に熱と光を！」

と き 9月18日(木) 19:30～21:00
と ころ 加茂健康福祉センター かもてらす
講 師 清原隆宣さんきよはら りゅうせん(奈良県西光寺住職)
【問】 雲南市人権・同和教育推進協議会加茂支部事務局
 (加茂総合センター自治振興課内)
 ☎0854-49-8601

幸雲南塾inさんべ

市内中学3年生の希望者が集まり、「出会いと交流!切り拓け!未来!～『夢』に向かって、今なすべきことは何か!～」をテーマに行う宿泊研修。今年は、市内高校生の希望者が参加する土曜学習「自分をつくる楽校」も同時開催します。

と き 9月20日(土)～21日(日)
と ころ 国立三瓶青少年交流の家
【問】 社会教育課 ☎0854-40-1073



名工探訪 ～つくり手と楽しむ2日間～

と き 9月27日(土)、28日(日)
 10:00～16:00
と ころ 雲南地域全域(手しごと工房15カ所)
参 加 料 無料
内 容 最新情報はWEBで公開しています
 ラメールHP
 →<http://www.lamer-unnan.com/event/1677>
名工探訪公式facebookページ
 →<https://www.facebook.com/MeikouTanboo>
【問】 ふるさと未来希望図プロジェクト実行委員会
 (ラメール内) ☎0854-49-8500

●市報うんなん No.118 2014年9月発行
 発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課
 〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019
 ☐unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口・41,199人(-17人)

男 性・19,765人(-15人)

女 性・21,434人(-2人)

世帯数・13,800世帯(3世帯)

平成26年8月1日現在(先月比)